

# 友好の絆深く

## 營口港(中国遼寧省營口市)との友好港湾正式調印

友好港湾調印中代表団(団長・五十嵐市長一行十名)は、四月十四日より四月二十四日までの十日間の日程で營口市政府を訪問、政府関係、營口人民代表の熱心歓迎を受け趙新良市長より訪中団に対し、友好港湾調印の成功を願う歓迎を受けた。

一九八五年七月、宋宝玉營口市人民政府副市長を団長とする一行七名が本市を訪問、意向書に調印以来、互いに交流を深めてこの日の感激の正式調印となりました。

趙新良市長外營口市政府関係者、留萌市代表団の見守る中、黄恩元局長と五十嵐市長との間で調印が行われ、議定書を交わした後、友好旗、記念品の交換を行い両港の今後の友好交流と協力について、一層の増進を確認しました。



地にすんでいたことが証明されている。

戦国時代は燕国に属しており、その後紀元前百二十一年秦が中国を統一し、遼東、遼西と言う二つの都がこの地を統轄、以後、各王朝はここに州懸をおいた。

百二〇年前、營口市は正式に対外通航を始め中国東北第一の対外通商港となった。交通の便が良く、特に營口港は遼寧省の主要な港であり、二つの港を有し、鮫魚圈新港は国家が新しく投資してつくられた深水の良港である。両港の吐量は七〇〇万トン

で、一九九〇年までに一、五〇〇万トンまでに達するものとみられ、全国十大港に数えられる。また国内及び世界各国の港に海路で結ばれている。地理的環境に優れ、自然資源が豊富な地域であり東部の山間地にはマグネサイト、タルク、ホウ素、金、鉄、銅、鉛、銀と螢石など三〇種の鉱石が埋蔵されており、中でもマグネサイトの埋蔵量は世界でもトップクラスである。工業は、他に比類ないほど完備されており、軽、紡工業がもっとも発達している。

このため蘋果、海蜆、蘆葦等十八種の輸出基地を建設、一九八六年の輸出総額では四億元に達し、遼寧省トップである。水陸の交通の便も良く、観光名所も豊富であり、海岸線は長く、この地方の気候は人が住むのに適しており、米や果物、各種水産物が多く採れ昔から果物の郷、魚米の郷、とよばれている。



友好記念碑

## 營口市のプロフィール

營口市遼寧省南部、渤海東湾の東岸に位置している。市の管轄区域は站前区、西市区、老辺区、鮫魚圈区、營口懸、蓋懸である。総面積、五、四〇二平方キ

ロメートル、総人口二〇二万人、漢民族、満州民族、回教(イスラム)民族、朝鮮民族等二〇余の民族が暮らしている。

歴史は古く、一九八四年に營口懸永安郷金牛山猿人遺跡で、猿人の頭蓋骨が発見され鑑定の結果、中国民族の祖先は二〇万年前に、すでにこの

## 友好港湾調印までの経過

本市と營口市は、一九八四年四月、日中友好留萌市民会議の主催により講演会が開催され、講師として来留された中国駐札幌総領事館、王首領事より本市と同じく港湾を持つ都市として營口市が紹介され、友好都市の気運が盛りあがった。

一九八四年四月一日中友好留萌市民会議会長澤泉昭吉氏より營口市との友好都市締結を求めると高まる。一九八四年六月一回会会長より友好都市締結要請が出される。

一九八四年十月一日中友好訪問視察団を編成し澤泉会長外九名が營口市を訪問する。一九八四年十二月一日中友好留萌市民代表の營口市訪問要請書が届く。一九八五年三月一日留萌市と營口市との友好都市を結びたく、四月に代表団を派遣する旨の書簡が届く。一九八五年四月一日中友好留萌市民代表の營口市訪問要請書が届く。



營口港



留萌港、營口港位置図

澤泉氏を団長として營口市を九名が訪問、友好港湾締結への方向転換をし、今後進めることを受諾した。遼寧省長李長春宛營口市との友好促進のため知事メッセージを携行する。

一九八八年四月一日中友好留萌市民視察団を編成し、留萌市長、日中友好留萌市民会議会長名で招待状を送る。一九八五年七月一日宋宝玉營口市人民政府副市長を団長とする一行七名が来市意向書に調印する。一九八八年四月一日中友好留萌市民視察団を編成し、留萌市長、日中友好留萌市民会議会長名で招待状を送る。一九八九年四月一日招聘について、營口と留萌港との友好港湾締結について同意する旨の返事が届く。一九八九年九月一日黄恩元營口港務管理局局長を団長とする營口港務経済代表団五名が来市、留萌港と營口港との友好港湾締結に関する議定書草案に調印する。



營口市人民政府前にて

一九九〇年四月、友好港湾締結調印代表団(市長外九名)營口市へ出発調印式

- |        |       |                  |
|--------|-------|------------------|
| 1. 団長  | 五十嵐悦郎 | 留萌市長             |
| 2. 副団長 | 田下一夫  | 留萌市国際親善交流委員会委員長  |
| 3. 副団長 | 澤泉昭吉  | 留萌市議会議長          |
| 4. 団員  | 玉川勲   | 留萌市国際交流親善委員会委員   |
| 5. "   | 坂田健二郎 | 日中友好留萌市民会議会長     |
| 6. "   | 塩谷洋次  | 留萌市国際親善交流委員会副委員長 |
| 7. "   | 山岸正巳  | 留萌市体育協会理事長       |
| 8. "   | 木下久子  | 留萌港湾振興会会員        |
| 9. "   | 野崎良夫  | 留萌市文化団体協議会副会長    |
| 10. "  | 横濱勇美  | 留萌地区労働組合協議会議長    |

### 日本国留萌港と中華人民共和国營口港との友好港湾締結に関する議定書

日本国留萌港と中華人民共和国營口港は、日中友好条約の原則に基づき、日中両国人民の友好関係の増進と両国の貿易と海運事業の発展のため、友好港湾の締結に合意する。

両港は、平和友好、平等互恵、相互信頼、長期安定の原則に基づき、港湾の建設、管理運営、技術協力など各分野の広範な交流と協力を行い、両港の友好関係を発展させるために努力するものとする。

両港は、この締結が、日本国と中華人民共和国人民の子々孫々にわたる友好の一層の増進と、世界平和に寄与することになると確認する。

ここに留萌港港湾管理者と營口港務局局長は、両港を代表して本議定書に署名する。

本議定書は署名の日から発効し、日本文と中国文は、共に同等の効力を有する。

1990年4月17日

日本国留萌港湾管理者 留萌市長 **五十嵐悦郎**

中華人民共和国營口港務局局長 **黄恩元**